



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市大字豊饒476番地 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係
※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

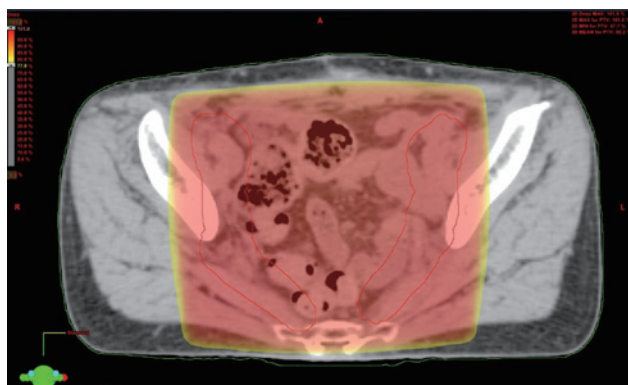
放射線科

放射線治療による副作用を和らげるための取り組み ～強度変調放射線治療の実施～

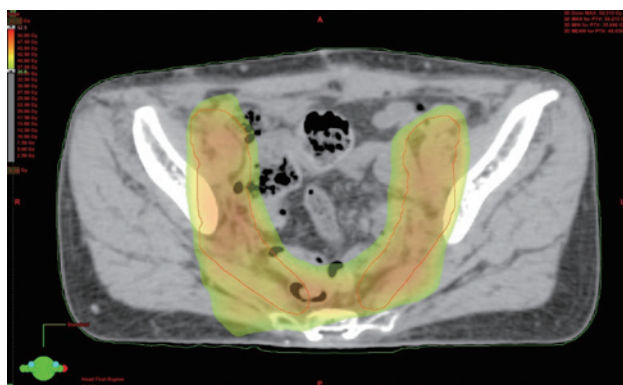
がんを治す、がんの再発を防ぐことなどを目的として様々な放射線治療が行われます。しかし、放射線治療により、がん病変周囲の正常な組織にも放射線があたって副作用が起こり、毎日の生活に支障を来すことがあります。

例えば骨盤部への放射線照射を行う場合、正常な小腸にも放射線があたって副作用の下痢が起き、つらい思いをされる方が少なくありません。

当院ではこのような副作用を低減するために、小腸にあたる放射線の量を少なくする工夫(強度変調放射線治療)を行い、なるべくきつさを感じることをないように治療期間を過ごしていただこうと考えています。



(図1) 骨盤部に対する通常照射



(図2) 強度変調放射線治療

通常の放射線照射治療(図1)では前後左右の4方向から照射を行います。放射線が小腸にも照射されるため、高頻度で下痢が起きます。

強度変調放射線治療(図2)では、治療の対象となるリンパ節領域(色のついた部分)には照射されますが、照射を避けたい小腸には放射線があたらない(色がついていない)ことがわかります。

強度変調放射線治療は複雑な照射法で、放射線治療装置があればどの医療機関でも実施できるというわけではありません。当院ではこの照射法に適合した治療装置が設置され、放射線治療専門医と放射線治療専門技師、放射線治療品質管理士、放射線物理士、がん放射線療法看護認定看護師など充実したスタッフが運用しているという整備された条件が、この治療を可能にしています。前立腺に対しての治療は数年前から行っていましたが、最近は骨盤部のみならず、耳鼻科領域の治療にも適用しています。

この強度変調放射線治療は、これまでの放射線治療による副作用を減らすことができ、治療後の患者さんの日常生活の質の維持に貢献できていると考えています。

(放射線科部長 副院長 前田 徹)

専門・認定看護師
シリーズ 16

患者さんの「からだの症状と気持ちのつらさ」に対する支援

当院は「がん診療連携拠点病院」のひとつに指定されています。

この「がん診療連携拠点病院」では、患者さんに早い段階から緩和ケア(身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケア)を受けていただけるよう、全ての医療者に、患者さんの苦痛を捉えるための努力が求められています。当院では、『生活のしやすさに関する質問票』(以下、質問票といいます)という用紙を使って、患者さんの苦痛をできる限り早く、確実に捉え、必要な支援を行えるように取り組んでいます。

『質問票』は、[からだの症状]と[気持ちのつらさ]についての質問に対し、数字で“つらさ”の程度を表現していただくものです。数字だけでなく、具体的な症状や気になることについての記入もできます。

医療者は、患者さんのつらさを知るだけでなく、この用紙を利用して、患者さんやご家族と話し合う時間を持ったり、医療者間で支援方法を検討したりします。

患者さんの中には、つらさを数字で表現することはできないという方や、つらさに向き合うこと自体が苦痛と感じる方もいらっしゃいます。決して強制ではなく、医療者が患者さんご家族の苦痛を理解するため、また、より良い療養生活を送って頂くために『質問票』を活用します。

『質問票』を通して、患者さん・ご家族と医療者とのコミュニケーションを深められるよう努めていきます。



(がん看護専門看護師 菅原 真由美)

質問票

生活のしやすさに関する質問票

<記入者> <input type="checkbox"/> 患者さん <input type="checkbox"/> ご家族(関係:) <input type="checkbox"/> 医療者 <input type="checkbox"/> その他()	ID: _____
記入日 _____ 年 ____ 月 ____ 日	お名前 _____

この用紙は、患者さんの困り事について、医療者ができるだけ早く把握することを目的として、記入をお願いします。

<看護師サイン>

1. からだの症状について、当てはまる数字に○をつけてください

<p style="text-align: center;">↑</p> <p style="text-align: center;">4 我慢できない症状がずっと続いている</p> <p style="text-align: center;">3 我慢できないことがしばしばあり対応してほしい</p> <p style="text-align: center;">2 それほどひどくないが方法があるなら考えてほしい</p> <p style="text-align: center;">1 症状は軽く現状でよい</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">0 症状なし</p>	<p style="text-align: center;">どのような症状がありますか？</p>
---	--

2. この1週間の気持ちのつらさで、当てはまる数字に○をつけてください

<p style="text-align: center;">10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0</p>	<p style="text-align: center;">最高につらい</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">つらさはない</p>
---	---

3. 生活する上で、お困りのことがあれば自由にお書きください

*** 当院では、就労支援の相談を行っています。希望される方はチェックして下さい ***
 就労相談を希望します

有り難うございました。
お困りの際は、いつでも、お気軽に声をおかけください。

OPTIM「生活のしやすさに関する質問票」を参考に作成
2014年 7月 大分県立病院緩和ケア室
2017年10月 改訂